

# 2019年度 ハンド・イン・ハンド街頭募金活動 報告(岩手県ユニセフ協会)

盛岡 12月7日(土) 花巻 12月14日(土) 宮古 12月15日(日)

中学生・高校生・大学生・一般ボランティア 372人参加

募金額：66万9,928円

## 5歳の誕生日を迎えることなく命を落とす子ども、年間530万人



©UNICEF/UN061432/Dejongh

盛岡 カワトク、ホットライン肴町、Mossビル、クロステラス、アネックスカワトク ベルフ松園

花巻 アルテマルカン桜台、ビフレ花巻店、コープ花巻あうる、イトーヨーカ堂花巻店

宮古 マリンコープDORA、ベルフ西町

ご協力いただきました企業・団体・個人のみなさま、ありがとうございました。

参加した学生ボランティアから「他の人のことを考えてくださる人たちの優しさを感じることができてとてもよかった」「100円でワクチンや浄水剤など多くのものに変えることができると知り、素晴らしいと思った。貧しい子どもたちの生活のつらさを実感した。子どもたちに生きるチャンスを与えられるよう、今後も積極的にユニセフに協力していきたい」などの感想が寄せられました。

5歳未満児の死亡数は1990年の年間1,260万人から2019年は530万人に減少しました。また同時期に、5歳から14歳の間に死亡する子どもの数は年間170万人から100万人以下に減少しました。

しかし、現在も1年間に530万人もの幼い子どもたちが、肺炎、下痢、はしかなど簡単に予防できる病気などのためにその命を失っています。いずれも先進国では死に直結しない病気ですが、世界ではこれら3つの病気だけで、2017年の乳幼児死亡数の約3割に相当する150万人以上が犠牲になっています。どの病気にも治療薬やワクチンなどの簡単な対処法があるにもかかわらず、何百万人もの子どもがこうした医療ケアにアクセスできずにいるのです。

今この瞬間も病気と闘う多くの子どもたちが、命を守る支援を必要としています。



▲募金活動の前に紙芝居でユニセフを学びました 街頭で呼びかける中学生・高校生たち



### ▲盛岡市ホットライン肴町・カワトク・アネックスカワトク-MOSSビル で街頭募金に取り組みました

#### 参加校 13校

宮古市立宮古西中学校、宮古市立第一中学校、宮古市立第二中学校、宮古市立河南中学校  
県立花巻北高校、県立花北青雲高校、花巻市立南城中学校、花巻市立花巻中学校  
盛岡市立黒石野中学校、盛岡市立松園中学校、盛岡大学、県立盛岡北高校、盛岡中央高校

#### 参加ボランティアの感想

- ・募金活動を行ってみて「他の人」のことを考えてくださる人たちの優しさを感じることができてとても楽しかったです。また地域の人たちと少しでも交流することができる、よい機会となったので、このような活動に積極的に取り組みたいです。(盛岡 中学女子)
- ・100円でワクチンや浄水剤など多くのもに交換できると知り、素晴らしいと思った。また、日本で生活していると、水の衛生や教育などで困ったことがないため、貧しい子供たちの生活のつらさを実感した。子供たちに生きるチャンスを与えられるよう、今後も積極的にユニセフに協力していきたいと思った。(盛岡 中学男子)
- ・はじめてこのような活動をしてみて、私たちの活動が実際に困って。いる人たちにつながっているという実感を持つことができ達成感を感じることができました。また、たくさんの善意にふれられてとても嬉しくなりました。(盛岡 中学女子)
- ・今回の活動は地元の活動で、お客さんの厚意でたくさんの募金が集まったことに感謝したいです。はじめは声を出すのが恥ずかしかったけど、高校生が率先して声を出していたので、とてもやりやすかったです。(盛岡 中学男子)
- ・今回の活動をしてみて、たった1円だとしても役に立つということが分かった。僕たち中学生ができることなんてないと思っていたし、できたとしても役に立たないだろうと思っていた。でも、100円あれば役に立つことはたくさんあると知った。これからはできることはできるだけやって、世界の子どもたちの役に立ちたい!!(盛岡 中学男子)
- ・はじめてボランティア活動に参加しましたが、一時間があつという間で、皆で声をかけあってできました。とても楽しかったです。(盛岡 高校男子)
- ・今まで何度か参加したことはありますが、こんなにも人の思いやりを感じたことはありませんでした。また機会があれば参加したいです。(盛岡 高校男子)
- ・みんなで声を出して、困っている人を助けていこうという気持ちが伝わってもらい、たくさんの人から募金してもらえて心が温まった。(盛岡 高校女子)
- ・思っていたよりも募金に協力していただける方が多く、盛岡の方々の優しさが強く感じられました。(盛岡 大学男子)
- ・現在でも多くの子どもが5歳まで生きられないことを知って、少しでも貢献できたことに嬉しく思います。現状を知ることができたので、ほかの活動でも活かしていきたいと思います。(盛岡 高校女子)

- ・世界中でこの時期に行っていると聞いて、私もその一員になれたと思うと嬉しかったです。誰かのためになると実感できる良い機会でした。(盛岡 高校女子)
- ・ユニセフの募金活動を通して、ボランティアの大切さやユニセフについて知識を深めることができた。この活動を機にボランティア活動に参加していきたい。(宮古 中学男子)

### **責任者の感想**

- ・土曜日でしたが人通りが少なく、高校生ボランティアの皆さんの元気な呼びかけにより、多くの方々に募金して頂きました。とても寒かったですが、みなさん、頑張って頂きました。(MOSSビル)
- ・学生さん達は、自分達でユニセフ手帳を見て学習しながら、オリジナルの声掛けでしっかり活動してくれていました。地元の中学校でもあるので、OB や保護者、ご近所の方々も応援してくれて、心が温まりました。(アネックス)
- ・声掛けはソフトムードで‘こんにちは’ ‘今日はいい事しましたね’ と年配の方に声をかけていました。昨年より人通りは少ないが、募金協力してくれました。(ホットライン肴町)
- ・はじめて参加しました。参加してくれた高校生のボランティアの皆さんの活発な声掛けによって、募金して下さる方が想像より多かったように感じました。募金活動を行っているかたの気持ちが理解できたので、見かけたら協力したいと思います。(クロステラス)
- ・活動を通して命の大切さや宮古の人の優しさを感じることができました。集めたお金が世界の困っている子どもの役に立てばうれしいです。(ベルフ西町)
- ・募金が世界の子どもたちの命を救えるとわかって良かった。この日を第一歩として自分も世界に貢献していきたい。(ベルフ西町)
- ・手と手を取り合う活動ができたと思います。募金活動する側としてくれる側のつながり、他地域へ繋げられることは素晴らしいと改めて感じました。(マリンコープ DORA)